



元気なまちを
あなたとつくる広報紙

SHINTOKU TOWN
<http://www.shintoku-town.jp/>



6月6日 屈足南小・屈足中合同大運動会「綱引き」
自VS紅 青VS黄 ライバルには負けたくない！

特集

新得高等支援学校開校から1年

かな自然の中で

豊

かな地域資源を生かし

かな「生きる力」を育てる

新得高等支援学校開校から 1 年

十勝圏の特別支援学校高等部への進学希望者の増加に対応するために、新得高等学校の空き教室を活用した「新得高等支援学校」が平成 28 年 4 月に開校してから 1 年が経過しました。
今回は、新得高等支援学校との行政や地域の関わり、昨年の支援学校の取り組みなどについて紹介します。



家庭総合科の学習の様子

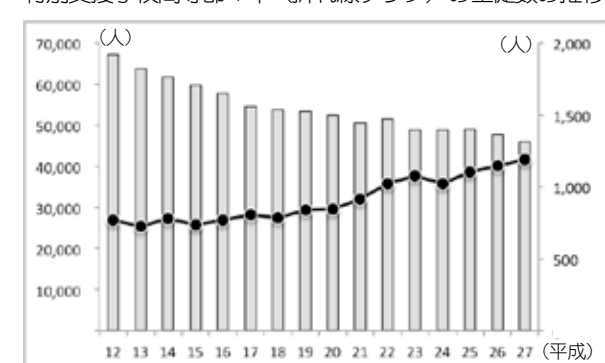


木工科の学習の様子

支援学校の授業の特色

新得高等支援学校には木工科と家庭総合科（家庭総合科は今年 4 月に新設。現在の 2 年生は家庭科があり、その授業には普通教科のほか、週 10 時間程度の作業学習があります。作業学習は、働く活動を通して勤労の体験を豊かにし、その意義を理解することにも、将来の職業自立や社会自立を目指し、必要な基礎的・基本的な能力や実践的な態度を育てることを目的としています。

北海道の中学校卒業生（棒グラフ）と特別支援学校高等部 1 年（折れ線グラフ）の生徒数の推移



北海道では、中学校の卒業生数は減少していますが、特別な支援を必要とする生徒は年々増加しています。十勝圏でも、小・中学校の特別支援学級の在籍状況から、平成 22 年度までは増加が見込まれるため、平成 28 年度に十勝管内で 2 学級相当の間の確保が必要となりました。
このような中、候補地として選ばれたのが新得町でした。支援学校では、現場実習を実施することから福祉施設やホテル、作業所などの受入先が多数見込めること、通学型の支援学校を予定していたことから交通の便が良いことなどが考慮され、平成 26 年 9 月に「新得高等支援学校」の設置が公表されました。

新得に学校ができた経緯

町としての支援

平成 28 年 4 月に新得高等支援学校が開校したことに伴い、6 月には新得高等支援学校協働会が赤木英俊会長（町社会福祉協議会会長）のもと発足しました。
町では、この協会の活動を補助し、間接的に支援学校の運営を支援しています。

《支援の例》

- ・通学の補助
新得高等支援学校は、通学制のため、多くの生徒が町外からバスなどを利用して通っています。その通学のために、拓殖バスに通学バスを運行してもらい、そのバスの路線維持のため、赤字分を補っています。
- ・実習バスの運行
生徒が行う校外作業学習のバスを手配しています。基本的には町有バスを使用していますが、空いていない場合に町内のタクシース会社を利用し、そのタクシーやバスの費用を補助しています。
- ・材料費や活動費を補助
社会貢献活動や「プロジェクト」や作業学習の材料、消耗品などの費用を補助しています。また、学校祭やそば祭りで配布する学校紹介リーフレット作成の補助をしています。

学校を知ってもらうための地域と関わる取り組みも

支援学校では、作業学習のほか、どのような学習活動を行っているか地域に知ってもらう、また、生徒が地域と関わって多くのことを学んでもらうために、地域と関わる取り組みを行っています。
その中の一例を紹介します。

○校外作業学習

週 1 回町内の職場で働くことを通して、いろいろな仕事を経験します。その経験を通して将来の進路について考えます。
昨年度は、サホロリゾートに協力をいただき、サービス業における仕事の姿勢や働くことの意義について学びました。



〇さくらプロジェクト

木工科と家庭科の作業を通して、新得町内小学校新1年生に入学記念品を贈る社会貢献事業です。昨年8月に浜田正利町長が木工科に木製スツール（椅子や机になる製品）を、家庭科にクッションを注文しました。

入学記念品は、スツールの高さの調整やクッションの刺しゅうにこだわり、試行錯誤をしながら半年をかけて製作され、今年4月に町内各小学校の新1年生一人ひとりに生徒が直接手渡しました。生徒たちは、製作を通して商品価値を認識することにも、児童の喜ぶ姿を見て、製作への満足感や達成感を味わいました。



〇現場実習

町内の事業所4箇所（役場、つたり温泉レイクイン、有限会社土田農産、植村土建株式会社）で5日間の実習を行いました。実習では、生徒それぞれが頑張っただけではなく、自分の課題などについても気づくことができました。



地域全体での協力と支援を

校外作業学習や現場実習などを行ううえでは、受入先の確保が重要となります。

町では、関係課、町内事業所、学校協力会と連携して情報共有しながら、学校での効率的かつ効果的な活動ができるよう支援していきます。

来年は、開校3年目となり、初年度に入学した生徒も卒業に向けて進路選択をすることになります。進路先を選ぶうえで、町内での就職も重要な選択肢の一つとなります。

生徒が希望する進路を選択するためには、それぞれの夢を見つけること、実現に向けた目標を明確に決めることが大切ですが、多くのことを体験し、経験を積むことで、チャレンジ精神を養い、社会に貢献することの理解が深まり、将来の選択肢も増えていきます。

そのために、生徒一人ひとりが学校生活を通して、積極的に社会に参加し、地域の中で学び成長していくために、地域全体で協力し、学校の活動を支援していく必要があります。

校長先生から一言



新得高等支援学校
校長 日向正明

平成28年4月に生徒9名、教職員20名で開校した「北海道新得高等支援学校」は、地域の方々に支えられて1年目を終え、今年4月に新たに16名の生徒を迎え入れ、教職員も25名に増えて2年目が始まりました。

昨年の「入学式」では、たくさんのご来賓の方々に見守られながら、学校としてのはじめての一步を踏み出すことができました。

また、昨年は同じ校舎で学ぶ新得高校と「体育祭」、「学校祭」、「全校遠足」、「球技大会」などの行事を合同で行いました。両校の生徒が交流を深める良い機会となり、今年はさらに交流を深め、共に成長できるように一層充実した活動を行っていきます。

2年目を迎えた今年は、昨年以上に地域の資源を活用した体験的・実践的な学習を推進していくと考えています。2年目の新しいチャレンジへ向け、町内の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

平成28年度 を振り返る

4月

入学式

ここから始まった「新得高等支援学校」。木工科6人、家庭科3人が入学し、学校の歴史・伝統づくりのはじめの一歩を踏み出しました。



5月

体育祭

新得高校と合同で初めて行う行事。生徒にとって交流を図る良い機会となりました。「大縄跳び」、「綱引き」、「リレー」に挑戦。練習の成果を十分に発揮し、団結力が深まりました。



10月

全校遠足

8月末からの台風の影響により、強歩遠足の予定を変更して新得町内を歩き、被災状況の見学を行いました。災害の恐ろしさを目の当たりにして、防災の意識と地域での助け合いについて考える機会となりました。



7月

学校祭

「開校」というテーマでちぎり絵で校章を作ったり、クラス発表では学校紹介や校歌を披露したりしました。

学校紹介の場面では、地域の方々とも交流し、学校のことを知ってもらう良い機会となりました。



12月

球技大会

ミニバレーとバドミントンに男女1チームずつが出場しました。勝てなかった試合が多く、悔しさをにじませる生徒も見られましたが、諦めずに頑張る姿や団結して励む姿も見られ、心身ともにさらなる成長につながる1日となりました。



2月

宿泊研修

十勝サホリリゾートで行った2泊3日の宿泊研修。普段、校外作業学習でお世話になっているホテルに宿泊し、サービスマンを受ける立場から自分たちの作業学習を見直すことができました。

3日間の研修は、スキー学習のほか、新得そばの館でそば打ち体験なども行いました。

宿泊研修中は、天候に恵まれ、最終日には全員でゴンドラに乗って頂上まで行くことができました。生徒同士の絆がぐっと深まる宿泊研修となりました。



町内各小学校運動会・中学校体育祭が開催！

※新得小学校の運動会は次号で紹介します。

5/28

新得中学校体育祭



6/3

富村牛小中学校・こじか園・トムラウシ町内会大運動会



6/6

屈足南小・屈足中合同大運動会



5月31日 Challenge Day チャレンジデー

人口規模が近い自治体同士がスポーツの参加率を競うイベント「チャレンジジデー」に今年で7回目の参加となりました。

開催を2週間後に控えた5月17日、対戦相手の岩手県軽米町（かるまい）町の山本賢一町長と浜田正利町長が電話で「お互いに頑張りますよ。これを縁に町の交流が深まれば」とエール交換を行いました。

5月31日に行われたチャレンジジデーの結果は、新得町の参加率は67%（4223人）、対戦相手の岩手県軽米町は67・9%と惜しくも破れ、通算戦績は3勝4敗となりました。

今年度は通算7回の参加の中で最高参加率となり、今までの最高参加率66・5%（平成26年度）を上回る結果となりました。

日頃から運動を習慣づけ、健康な体をつくりましょう。



妊娠・不妊治療・不育症の相談について

「保健福祉センターなごみ」では、赤ちゃんに逢いたいと願っている方や、妊娠したけれど不安がある…と思っている皆さんのお手伝いができたらと思っています。
妊娠・不妊症・不育症に関する相談、体調に関することなど、お気軽にご相談ください。



妊娠に関すること

- ・妊婦相談・妊婦訪問を行っています。
 - ・妊婦健診費用の全額助成をしています。
 - ・妊婦健康診査14回分・超音波検査6回分助成と妊婦健診でかかった自己負担分の費用も全額助成しています。（償還払いします）
- ※治療を行った場合にかかった費用は医療保険適用となり、対象になりませんのでご注意ください。

平成29年度日程

☆パパ・ママサロン

- ① 平成29年 8月23日（水）、8月24日（木）
- ② 平成30年 3月27日（火）、3月28日（水）

☆プレママクラブ

- ① 平成29年 8月29日（火）
- ② 平成29年10月24日（火）
- ③ 平成30年 1月30日（火）

▷パパママサロンとは…

妊娠中を元気に乗り切り、安心して出産、子育てができるようにするサロンです。
1日目は、日中お仕事のある方やパパも参加しやすい夜間に実施します。経産婦さんの方も楽しめます♪
2日目はお昼にランチを作りながら交流を深めます。食事を見直したり、お友達作りの機会となります♪

▷プレママクラブとは…

妊娠後期の皆さんで、交流・赤ちゃんグッズ作りをしています。また、実際の赤ちゃんや先輩ママさんと交流を行い、出産後の生活をイメージできます。



現在では6組に1組が不妊症と言われており、けっして珍しくない症状です。

町では治療の経済的負担軽減と少子化対策の充実を図ることを目的に治療費を助成しています。平成29年4月1日から、助成内容や条件が変更となりましたのでお知らせします。



不妊症に関すること

- ・特定不妊治療費、男性不妊治療費助成の相談を行っています。
- ・1回の治療につき20万円（夫婦の所得が730万円以上の場合は10万円）を助成しています。
- ・助成回数、助成対象年齢の制限はありません。

※北海道特定不妊治療相談窓口
帯広保健所 TEL：0155-27-8637



不育症に関すること

- ・不育症治療費の助成に関する相談を行っています。
- ・1回の治療につき20万円（夫婦の所得が730万円以上の場合は10万円）を助成しています。
- ・助成回数、助成対象年齢の制限はありません。

治療期間1回についての助成金額です。1回の通院の助成額ではないので、お間違えのないようにお願いします。
詳しくは町ホームページにも掲載しています。

お問い合わせ先 保健福祉課 健康推進係 TEL 64-0533
FAX 64-0534



第3セクターの決算状況

町が出資している法人で出資割合が50%を超える法人の決算について、平成28年度の貸借対照表と損益計算書を掲載します。

（株）新得町畜産振興公社

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	73,987,852	流動負債	15,634,147
現金・預金	25,680,239	未払金	15,361,557
売掛金	23,059,865	預り金	101,690
未収入金	1,224,122	未払法人税等	130,900
立替金	388,800	法人税充当額	40,000
未収入法人税等	776,300	固定負債	55,990,431
貯蔵品	22,858,526	退職給付引当金	1,291,538
		長期借入金	43,981,933
		長期未払金	10,716,960
		負債合計	71,624,578
固定資産	44,546,841	純資産の部	
有形固定資産	44,308,461	資本金	10,000,000
投資等	238,380	剰余金	36,910,115
繰延資産	0	うち当期利益	△6,594,988
施設負担金	0	純資産合計	46,910,115
資産合計	118,534,693	負債・純資産合計	118,534,693

損益計算書

自平成28年4月1日

至平成29年3月31日(単位:円)

売上高	241,769,525
売上原価	107,551,066
一般管理費	144,273,480
営業利益	△10,055,021
営業外収益	4,315,907
営業外費用	775,874
経常利益	△6,514,988
特別利益	0
特別損失	0
税引前当期純利益	△6,514,988
法人税等	80,000
当期純利益	△6,594,988
前期繰越利益	53,505,103
当期末処分利益	46,910,115



（株）新得観光振興公社

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	19,960,310	流動負債	26,119,489
現金・預金	11,775,617	買掛金	2,214,907
売掛金	2,518,346	短期借入金	17,000,000
商品	2,194,364	未払金	4,199,042
貯蔵品	702,565	未払法人税等	80,000
原材料	2,085,645	未払消費税	1,587,700
未収入金	683,773	前受金	50,280
未収法人税等	0	預り金	987,560
固定資産	6,700,918	純資産の部	
有形固定資産	6,618,740	資本金	10,000,000
投資等	82,178	剰余金	△9,458,261
		純資産合計	541,739
資産合計	26,661,228	負債・純資産合計	26,661,228

損益計算書

自平成28年4月1日

至平成29年3月31日(単位:円)

売上高	109,053,107
売上原価	27,417,275
販売費及び一般管理費	98,590,847
営業利益	△16,955,015
営業外収益	5,284,124
営業外費用	1,701,780
経常利益	△13,372,671
特別損失	65,708
税引前当期純利益	△13,438,379
法人税等	80,000
当期純利益	△13,518,379
前期繰越利益	△939,882
当期末処分利益	△14,458,261



（株）新得町畜産振興公社は、町営育成牧場の管理・運営を行っています。
平成28年度は、町内預託牛を適正に飼養管理するため、哺育舎・育成舎等の施設整備、作業機械の購入、採草地の更新を行い、放牧1181頭、舎飼974頭、哺育502頭（いずれも1日平均）の預託実績となりました。
今年度は、放牧1183頭、舎飼944頭、哺育660頭の預託を計画。牧場整備では、伝染病の予防として、野生鳥獣進入防止の防鳥ネットや、哺乳ロボットの消毒機械の設置を計画し、環境整備の強化を図り、預託者のニーズに応えられるよう運営していきます。

用語解説

・流動資産

通常1年以内に現金化、費用化ができるもの

・流動負債

1年以内に支払いの期限が到来する債務のこと

・固定負債

1年以上先に支払い期限が到来する債務のこと

・剰余金

会社の純資産額が法定資本（資本金など）を超えた金額

・純資産合計

資本金と剰余金の合計

・当期末処分利益

用途を確定していない利益のことで、繰越利益、積立金の取り崩し額など、当期、前期関係なしに利益となり得るものをすべて当期純利益に足したもの。

（株）新得観光振興公社は、国民宿舎東大雪荘の管理・運営を行っています。
平成28年度は、前年度に源泉掛け流し式に改修したことから、お客様の利用が増え、4月～7月まで好調に推移しました。しかし、8月に相次いで襲来した台風の被害により、道路が崩壊するなど、約1ヶ月半もの間休業を余儀なくされました。営業再開後も、JRの不通や日勝峠の通行止めなど台風被害の影響が長引き、年間の総宿泊客数は前年比93・9%という結果になりました。
今年は、景気回復傾向の追い風に加え、源泉掛け流し式のいいお湯をPRし、より有効に集客につなげるための企画商品開発や、ホームページの刷新、旅行サイトの活用を中心に、特別感のある温泉としての知名度の向上を目指していきます。

日頃の成果を披露

新得・屈足消防団消防演習

新得消防団（廣瀬顯嗣団長）の消防演習が5月20日に行われ、団員42人が出動しました。

また、5月25日には、屈足消防団（竹浦隆団長）の消防演習が行われ、団員34人が出動しました。

新得消防団の消防演習では、浦山兼一部長指揮での小隊訓練、ポンプ操法訓練、一斉放水、分列行進が行われました。一斉放水では、川の水を汲み上げ、8本のホースから同時に勢い良く放水が行われ、天気も相まって綺麗な虹がかかっていました。

表彰式では、「勤続表彰」として今井崇敬部長以下9人、「精勤表彰」として浦山兼一部長以下5人が表彰されました。

屈足消防団の消防演習では、大澤亮子部長指揮での小隊訓練、ポンプ操法訓練、一斉放水、分列行進が行われました。一斉放水では、5本のホースから同時に放水が開始され、見学に訪れていた屈足保育園の園児からは「がんばれ」と暖かい声援が送られていました。表彰式では、「勤続表彰」として香川彰部長以下8人、「精勤表彰」として小川竜司班長以下5人が表彰されました。



屈足消防団一斉放水



新得消防団一斉放水

台風災害における水防活動を表彰

新得消防団に水防功労者表彰

新得消防団の廣瀬顯嗣団長と岩倉弘行副団長が5月11日、町長室を訪れ、浜田正利町長と田中透副団長に平成29年度水防功労者（団体表彰）の受賞を報告しました。

昨年8月の台風災害の際に、昼夜にわたり水防活動を行い、被害の軽減に多大な貢献をしたことが評価されたもので、5月10日に東京で開催された全国水防大会で表彰を受けました。

東京での表彰式に出席した岩倉副団長は「災害が起きないに越したことはないが、消防団の活動が認められたことは励みになる。今後の消防活動や水防活動により一層邁進していきたい」と話しました。



左から浜田町長、廣瀬団長、岩倉副団長、田中副団長、増田消防署長

交通事故の恐ろしさ、道路の横断方法を学ぶ

園児の交通安全講習

町内の年長園児を対象とした交通安全講習が5月24日、26日に行われ、園児54人が参加しました。

講習では、モータースクールの坂東健一指導員から道路の横断方法を学び、タミール人形を使って事故の怖さを学びました。

道路の横断練習では、園児は右左、右、後ろ、前と念入りに車が来っていないか確認し、きちんと手を上げて道路を渡っていました。

最後に、新得モータースクールの松田敏幸校長から「今日はみんなしっかりと車に気をつけていました。これからも事故に合わないようにつけてください」と注意がありました。



計画的な観光振興を

第1回新得町観光振興ビジョン検討会議

第1回新得町観光振興ビジョン検討会議が5月29日、役場第3会議室で開かれました。

この会議は、観光振興ビジョンを策定・実行することで、観光振興のための体制と仕組みを構築し、観光入込客数の増加、地域経済の活性化、観光地域づくりを図ることを目的としており、町内事業者など10人の委員で構成されています。

会議では、それぞれの立場から「外国語表記を増やすべき」、「情報発信の方法を工夫すべき」などの意見が述べられました。

ビジョン策定は来年2月を目標としており、今後とも会議を重ね、効果的な観光振興を図るための課題整理を行います。



思いやりの心を育む

「人権の花運動」花苗等寄贈式

平成29年度「人権の花運動」の対象校として、屈足南小学校が選ばれ、5月18日、花苗等寄贈式が行われました。この運動は児童らが協力して花を栽培することを通して命の大切さを知り、思いやりの心を育むことを目的としています。

寄贈式では、人権擁護委員の千葉照映さんから児童会長の渡辺陸玖くんが目録が手渡され、佐々木裕二（人権擁護委員）からは「花を育てることによってやさしい心を持つてほしい」とあいさつがあり、小林琉花児童副会長が「今日寄贈してもらった花を大切に育てていきたい」と決意を述べました。



贈呈された花を植える児童会3役

来年度新1年生へ入学記念品を製作

さくらプロジェクト

新得高等支援学校2年生の8人が5月17日、町長室を訪れ、浜田正利町長から注文票を受け取りました。

このプロジェクトは昨年からはまり、来年度に小学校へ入学する新1年生へ支援学校の生徒が製作した入学記念品を贈ります。

注文されたのは、木工科に「木製スツール（椅子や机になる製品）とベンチ」、家庭科に「クッションとスツール用脚カバー」でそれぞれ船戸真由さんと古田真凜さんに注文票が手渡され、代表して古田さんが「心を込めて製作させていただきます」と決意を述べました。



注文票を受け取った古田さん（左）と船戸さん（中央）

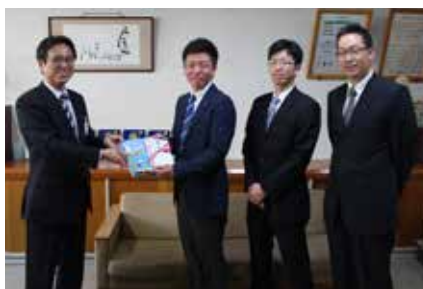
子どもたちを元気づけたい

商工会青年部が学用品を寄付

商工会青年部の根本健史部長と今村文昭副部長、宮脇丈弥副部長が5月17日、教育長室を訪れ、学習帳260冊と、折り紙200冊を武田芳秋教育長に手渡しました。

根本部長は「昨年の台風災害が起きてから、子どもたちを元気づける何かがないかと考えていた。長く使ってもらえるものを選び今回の寄付を決めた」と話しました。寄付を受け、武田教育長は「子どもたちには、折り紙で楽しく遊び、学習帳を使ってたくさん勉強してもらえれば学力向上にもつながる」と感謝を述べました。

後日、小学校を通じて学習帳が幼稚園、保育所を通じて折り紙が配布されました。



左から武田教育長、根本部長、今村副部長、宮脇副部長

富村牛小中学校の児童生徒が加入しているトムラウシ少年グリーンクラブが5月20日、町内4ヶ所（ツクハラ新得店前、農協店舗前、セイコーマート屈足店前、セブンイレブン新得店前）で緑の羽根募金活動を行いました。

トムラウシ少年グリーンクラブでは、キャンプやハイキング、ワカサギ釣りなどの自然体験活動のほか、ボランティア精神の向上や社会貢献、緑化活動への意識向上をはかるための奉仕活動を毎年実施しています。

募金に協力した方々から「暑い中お疲れ様、頑張つてね」と声をかけられ、子どもたちは「ご協力ありがとうございます」と笑顔を見せていました。

5月24日には、20日に町内4ヶ所で集めた寄付金4万3828円を役場産業課林務係へ手渡しました。

この寄付金は、主に北海道全体の公園の緑化、森林の整備に使われる予定となっています。

トムラウシ少年グリーンクラブの山岸球愛団長は「呼びかけを行い、訪れた人全員に協力してもらった。このお金を北海道全体の森林保全と緑化に役立ててほしい」と話していました。



集めた寄付金を林務係へ



町内での募金活動の様子

緑を大切にしましょう トムラウシ少年グリーンクラブが緑の羽根募金活動

広報モニターさんから「広報しんとく5月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼「屈足を考える会」は、形式的な会議ではなく活発な意見で実現化していく、とても良い試みだと思います。

屈足の活性化と問題解決となると内々の発想になりがちですが、広い視点から田舎に対する社会のニーズとマッチングしていければ、今後の町づくりへ大きく寄与されるのではないのでしょうか。

▼ひとこと手話講座はイラスト付きで分かりやすいと思います。

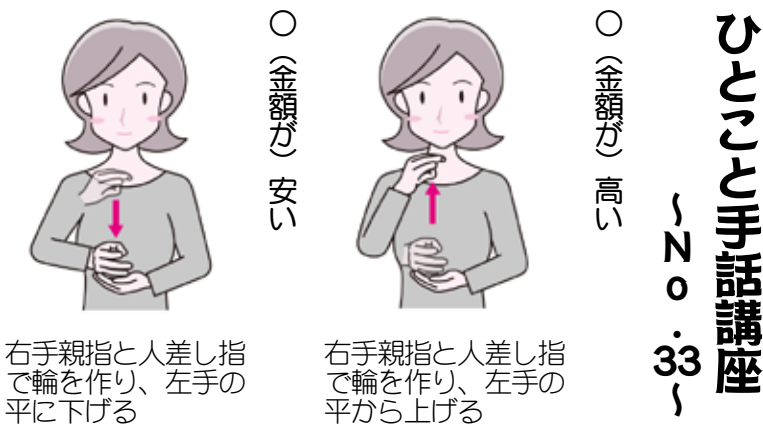
単語を覚えることも重要ですが、今後簡単な文章にステップアップしていただけると実用的になるかな、と思います。

▼教育や福祉の分野が多く労働者層の情報が少ないかなと感じました。様々な分野で活躍、新しい試みをされている方もいらっしゃるの、そういった情報も載せていただくと新得の動きがわかりやすくなると思います。

広報への情報提供システムがあると町の新しい発見が広められると思います。

▼北海道の急速な発展は行政主導によるところが大きく、文化を形成し

広報モニターからの声



ながら発達させていった本州とは大きく異なっています。

「屈足を考える会」は住民による実現を目標としており、屈足の新しいスタート地点として大きく期待しています。

▼これから活動的な時期となり記事も多くなってくると思います。

各種イベントでは、発足当初の「思い」から含めて歴史があるのかと思えますので、適宜順番で過去を振り返り、改めてその「思い」を強められる記事があればいいのではないかと思います。

地域に「ひろく」ねづいた施設へ 地域密着型特別養護老人ホームひろねが完成

社会福祉法人輔心会（若林尚理事長）がかねてから建設を進めていた地域密着型特別養護老人ホームひろねの落成記念式典が5月19日、施設の正面玄関前で開かれ、町や町議会、工事関係者、施設の職員ら約40人が出席し完成を祝いました。

施設には、居室29室とショートステイ用の1室のほか、町内会の集会所や直売所、展示会場として利用可能な地域交流スペースも備えられています。

建設の総事業費は約9億4千万円で、道と町の補助金を活用しています。

また、5月20日にはオープン記念講演会が同施設で行われ、町民ら約60人が参加しました。

講師には、長崎県で命や認知症を題材にした作品を作り続けている詩人の藤川幸之助さんを迎え「支える側が支えられるとき」～認知症の母が教えてくれたこと～を演題に自身の介護経験をもとにした考えなどをお話いただきました。



地域密着型特別養護老人ホームひろね



記念講演会で講師を務めた藤川さん



完成記念式典テープカット

「みて」「きいて」高齢者施設のあれこれ

厚生協会 地域福祉協力事業『知っておきたい高齢者施設の基礎知識』

厚生協会の初めての試みとなる地域福祉協力事業『知っておきたい高齢者施設の基礎知識』が5月20日、聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘で開催され、参加者施設職員ら40人が参加しました。

開会にあたり鈴木政輝理事長が「高齢者施設についての理解を深めていただき、地域の中でも情報共有していただければ」とあいさつしました。

新得やすらぎ荘の澤田直樹介護支援専門員から、高齢者施設の種類、手続きや費用、行事などの説明のほか、施設に関して寄せられる様々な疑問をQ&A方式で解説された後、2組に分かれ、新得やすらぎ荘とひまわり荘の施設見学を行いました。

施設見学の後は、説明や見学で参加者が気になったことなどを相談員やケアマネージャーと話し合う茶話会が開かれました。

参加者は「本で読むのとは違い、説明を聞いて実際の施設を見学することで、施設全体のことがよくわかり勉強になりました」と話していました。



茶話会の様子



高齢者施設に関する説明の様子

地域活性化のため今年もやります

くったり軽トラ市 9年目がスタート

今年1回目となる、くったり軽トラ市（同市友の会主催）が5月20日、屈足総合会館駐車場で開かれました。

この日は、山菜や野菜の苗、日用品など13店舗が出店し、たくさんのお客さんと賑わいました。

今後も9月までの月1回、同会場で開催が予定されているほか、10月22日にはさわやかホールで、バンド演奏などとコラボレーションした「くったり軽トラまつり」が予定されています。

お問い合わせは、役場屈足支所（65-2111）まで。



花と緑がいっぱいの町へ

やさしい園芸講座

花いっぱい運動推進委員会（浦山壽会長）が町を花と緑がいっぱいの美しく活気のある町にしようと「やさしい園芸講座」を5月21日、町公民館前で開催し、親子連れなど約50人が参加しました。

講座では、同委員会のフラワーマスター認定者から花を美しく咲かせるための丈夫な苗、良い土、肥料の選び方など、花の管理についてを基礎から学びました。

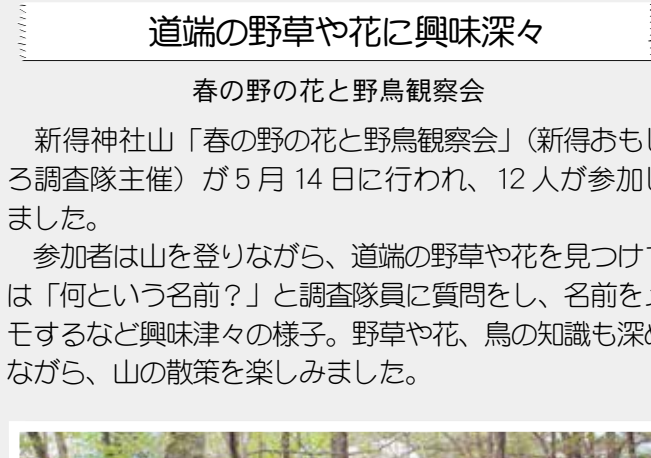


緑いっぱいの未来へ向けて

コープ未来（あした）の森づくり植樹祭

コープ未来（あした）の森づくり植樹祭（生活共同組合コープさっぽろ主催）が5月21日に開かれ、町民4人を含めた39人が参加しました。

この事業は道の「カーボンオフセット型森林づくり制度」を活用し、コープ札幌と新得町が森林整備協定を結んで森林づくりを進める一環として行われたもので、今回はカラマツの苗280本を記念植樹しました。



春の野の花と野鳥観察会

新得神社山「春の野の花と野鳥観察会」（新得おもしろ調査隊主催）が5月14日に行われ、12人が参加しました。

参加者は山を登りながら、道端の野草や花を見つけては「何という名前？」と調査隊員に質問をし、名前をメモするなど興味津々の様子。野草や花、鳥の知識も深めながら、山の散策を楽しみました。



話題のアルバム

満開の桜のもとお花見

第67回新得神社山桜まつり

第67回新得神社山桜まつり（実行委員会主催）が5月7日、新得神社境内で行われました。

今年は2年連続満開の桜のもとでの開催となり、風が強い中でしたが晴天にめぐまれ、多くの方がシートを広げて焼肉を楽しんでいました。

まつりは、新得中学校吹奏楽部の演奏から始まり、新得音頭保存会と新得幼稚園の園児による「新得音頭」、飛び入り参加可能なカラオケ大会が行われました。

最後に、恒例のお楽しみ抽選会が行われ、盛況のうちに終了となりました。



初心者から上級者まで楽しく交流

第16回新得町フロアカーリング交歓大会

第16回新得町フロアカーリング交歓大会が5月15日、17日に行われ、総勢25チーム、初心者から上級者まで66人が楽しみつつ上位を目指して大会に臨みました。

決勝は「アサ&ミ」（片桐浅夫さん・片桐美恵子さん）と「セキウス」（関ゆり子さん・水本敏政さん）との対戦となり、熱戦の末「アサ&ミ」が優勝を果たしました。

4位までの順位は次のとおり

優勝	アサ&ミ	準優勝	セキウス
3位	カズ	4位	KKR



交通事故のない明るい町に

屈足交通少年団入退団式

屈足交通少年団（大内理瑚団長）の入退団式が5月8日、屈足支所で開かれ、中学生となった退団者6人と新入団員3人を含めた13人が参加しました。

屈足交通少年団三浦尚幸会長から『「交通事故に合わない」「交通ルール、マナーを身につける」「他の子どもの見本となる」の3つを約束してください』とあいさつがあり、その後、退団者に記念品が贈られました。

最後に、新入団員の榊柚奈さんが「交通事故のない明るい町にするために思いやりの気持ちをもって交通事故防止につとめます」と誓いのことばを述べました。

防犯情報共有で地域の安全安心づくり

新生の2町内会「青空地域安全教室」

新生の2町内会（阿部靖博会長）は5月14日、第33回町内会花見に合わせ、新得警察署の井元健二生活安全係長を講師に迎え「青空地域安全教室」を開催し、約50人が参加しました。

これは、日頃から防犯情報を共有した安心安全づくりが必要とのことで開催され、井元係長から今多発しているオレオレ詐欺などの特殊詐欺について説明を受け、被害に合わないための対策や心構えを学びました。

教室が終わった後には会員同士会話を楽しみながら、美味しい焼肉に舌鼓を打ちました。





「やる気」をあげるコツを教えます！

しんとく元氣アップ講演会

しんとく元氣アップ講演会が5月25日、昼の部は「元氣アップ～心のサプリメント～」と題して町公民館で開催され、夜の部は「笑顔のパパママ増量大作戦～イライラしない子育て～」と題して町保健福祉センターなごみで開催されました。

講演会では、笑華尊塾代表の塩谷隆治さんが、「しあわせを連鎖させる」をテーマに、高校の保健体育教師としての勤務経験から、日常にハイタッチを取り入れることなど、笑顔を伝播させ、不機嫌を解消し個々やチームの可能性を最大限引き出すコツを話しました。

また、夜の部では、子育てに疲れたおとなや、子どもと一緒に笑顔になる方法として、イライラしない考え方をもつための行動、疲れにくい体の作り方などについても話をしました。

講演会の中では、参加者同士でのハイタッチを実践し、前向きで明るくユーモア溢れる塩谷講師の話を聞き、参加者には「やる気」に満ちた笑顔が溢れていました。



大自然を駆け抜ける

2017 7th 狩勝トレイルランニング

100年前に造られた旧狩勝線の線路跡と林道を走る狩勝トレイルランニング（実行委員会主催）が5月28日に開催され、道内外から221人が参加しました。

20km、10km、4kmの3種目で実施され、旧新内駅をスタートし、日本三大車窓といわれた自然豊かな展望と、歴史ある橋など鉄道史跡を楽しみながらコースを満喫しました。

この日は晴天に恵まれ、ランナーは新緑豊かなコースを自然の躍動を感じながら健脚を競い、気持ちの良い汗を流していました。

高校生と楽しく遊ぼう

新得高校オダッシュ部が新得保育所を訪問

新得高校オダッシュ部（今野喬祐部長）5人が5月30日、新得保育所を訪れ、園児約50人と遊びを通して交流を深めました。

部員が用意した、手遊び、ぬり絵、紙芝居で園児たちは大はしゃぎしながら、お兄さん、お姉さんたちとの遊びを楽しみました。

今野部長は「子どもが大好きなので、やっていてとても楽しいです」と話していました。



話題のアルバム

おいしくなーれ、おいしくなーれ

新得保育所種まき交流会

新生の2町内会と新得保育所の園児が交流を兼ねて行う種まき交流会が5月23日に保育所の畑で行われ、園児72人がトマト、じゃがいも、とうもろこしなど10種類の野菜を植えました。

新生の2町内会からは阿部靖博町内会長と中村亮三さん、秋田弘子さんが参加し、園児に種まきの指導を行いました。

園児は種まきが終わった後に「おいしくなーれ、おいしくなーれ」と願いを込めていました。秋にはおいしい野菜が収穫できそうです。



守り続けられる まちの歴史的文化

新得山新四国八十八ヶ所お山開き

新得山新四国八十八ヶ所・一畑薬師保存会（古川盛会長）が5月21日、新得山新四国八十八ヶ所で「お山開き」を開催しました。

同所は、昭和6年に脇タネ氏が四国八十八ヶ所の砂を持ち帰り、石仏一体一体の下に埋め、新得の地でも四国八十八ヶ所の巡礼ができるようにと創設されました。以来、有志の方の保存継続の努力により、新得町の歴史的文化・風土として継承されています。

当日は、大師堂での法要に多くの方がお詣りに訪れ、参道を巡っていました。



歌って踊って楽しいひととき

ケロボン & タケボンファミリーコンサート

ケロボン & タケボンファミリーコンサートが5月21日、町公民館で開かれ、町内外から約450人が来場しました。

ケロボンズ（増田裕子さん、平田明子さん）の遊び歌、大友剛さんのマジックショーや絵本の読み聞かせのほか、パネルシアター、ジェスチャーゲームなどの多種多様な催しに子どもたちは大興奮。

ハーモニカやピアノなどを使った歌や踊りに合わせて、大人も子どもも一緒になって手を振ったり足踏みをしたりと会場は大盛り上がりとなりました。

おいしいお米になりますように

屈足保育園の園児が稲の苗植え

屈足保育園の園児32人が5月31日、園舎横の広場で稲の苗植えを行いました。

この行事は、昭和50年代まで屈足地区で盛んに行われていた稲作の歴史を園児にも知ってもらい、収穫の喜びとお米の大切さを感じてもらうことを目的としています。

日高町の下村農園から贈られた苗を園児たち自らが植え、秋には収穫したお米を使ったおにぎりづくりが予定されています。

園児たちは、手を泥だらけにしながらい生懸命苗を植えていました。



防災知識 そのマメ

いざという時のために防災の知識と心構えを身につけましょう。

「避難場所」と「避難所」の違いは？

安全に行く事のできる最寄りの避難所、公園、空き地、広域避難所など、どこにいても避難して大丈夫。
ご家族の待ち合わせ場所や避難所の確認をお願いします。

避難場所

警戒宣言が発令された時あるいは発震後、延焼火災など周辺に迫った時に緊急的に避難する場所をいいます。避難場所は、グラウンドなど広い場所での屋外避難が原則です。

避難所

災害発生後に自宅に住めなくなった方が、一時的に避難生活を営む場所をいいます。

新得地区の避難場所・避難所

避難場所

一条公園、中央公園、運動公園、なかよし公園、つつじヶ丘公園、新得小学校グラウンド、新得中学校グラウンド、新得高校グラウンド

避難所

公民館、保健福祉センター、幼稚園（地震災害のみ）、新得小学校、新得中学校、新得高校

屈足地区の避難場所・避難所

避難場所

もみじ公園、屈足公園、柏町公園、屈足南小学校グラウンド、屈足中学校グラウンド

避難所

総合会館、屈足保育園、屈足南小学校、屈足中学校

農村地区の避難場所・避難所

避難場所

旧上佐幌小学校グラウンド、北公園、かえで公園、旧佐幌小学校グラウンド、屈足農村環境改善センター、富村牛小中学校グラウンド

避難所

レディースファームスクール、佐幌農業会館、北新得農業会館、屈足農村環境改善センター、富村牛小中学校

町では、災害の種別や災害時の各地区の状況によって開設可能な避難所を判断し、皆様にお知らせしていきます。

町長室からこんにちは

新得町長 浜田正利

町内外の何人かの方との会話から、二点お話しします。

一点目は、最近、「首相官邸への付度（そんたく）」という文言が報道等で見たり聞いたりする機会が多くあります。何故、そんなに揉めるのかの思いから、場合によっては町政でもあり得ることなのではと考え、何人かの方と意見交換をさせていただきました。話の中で、私の主張は「時には付度は必要」でした。

町民の皆さんに困り事が起き、場合によっては「町長、何とかありませんか」と相談を受けることがあります。今は一人の困り事でも、公益性があり公共性が高いと感じたときは、関係者に「何とかならないのか」と強い調子で話をする場合があります。

付度の意味が微妙に違う方もいますが、他の方も「付度は必要」というお話でした。

国と町では権限が違いすぎますが、町政においての付度について、皆さんはどのように考えますか？



二点目は、プロ野球日本ハムの選手のエニホームに新得町の名前が入ることをお知らせしてきましたが、対象になっていた全16試合が終わりました。成績は12勝4敗でした。

この間、様々な方から、名前が入ったことに驚いたこと、町のPRになったこと、名前が入っている試合の成績が良かったなど、新得にとって良い結果になったと電話をいただきました。今回の出来事は反響が大きかったことを実感しました。

プロ野球に限らず、小中学生のスポーツでの活躍、新得発祥のフロアカーリング、これから普及が始まるバンディなど、スポーツを通じて町のPRに繋がる取り組みには積極的な対応を進めたいと改めて思いました。もちろんスポーツ以外の活躍についても応援していきます。是非、皆さんの応援もよろしく願います。

次に、普段なかなか見えない頼もしい役場若手職員の動きを報告します。町内には100戸を超える個人の空き住宅があり、住宅資源として何とか再利用が出来ないかと考えていますが、若手職員の政策提案メンバーにより、議論を深めていくことが決まりました。

平成28年も人口が減りましたが、55人の社会増があり住宅が不足しました。これからも社会増が続くかは不透明ですが、空き住宅に目を向けて対応していく事は大変良いことと思っており、期待をしているところです。

※付度（そんたく）

他人の心中をおしはかること。推察。

短歌

新得短歌会

幼子が摘む花一輪母に似て飾る我にも時は流れる

小野 恭子

下向きに咲くカタクリの一途さは吾が再生の力となりぬ

高橋 幸子

萌黄色爽やかなりてこの季の木々目に染みて優しかるなり

小関 白潮

植え来して九十九年満開の桜に乾杯 悲願を馳せて

菊池 水月

春霞み耳を澄ませば轉りがデーデーポッポ幸せ見つけ

荒木 風月

名残り花拾い集めて当然に建て換え橋に五月雨つづく

中井由利子

初めてのミステリーツアーの夫婦旅とあるところをなぞらへあてる

小野 洋子

神社山北上のいろさくらいろ目ざめし景は災害の河

奇藤美代子

俳句

新得俳句同好会

花吹雪黄砂のどっと乗りにつけり

片桐 波月

山独活の友のぬくもり夕の膳

渡辺アヤ子

日高嶺の雪霰然と草萌ゆる

奇藤 青苔

いもの芽を欠いて昭和をあつくする

高橋 民女

送りきし新茶のお礼長電話

八木 育子

追い越され追い越して行く花筏

月井 愁峰

春木五横笛流る羽音する

大崎かずお

畑づくり昔人馬やりバシブル

袴田ゆき男

風光る園児の走る縄電車

中島 土方



佐幌川流送跡地に立てられた史跡標柱

新得町の開拓は、明治32（1899）年の山形団体の入植によって始まりましたが、当時の入植者は森林の伐採には手が回らず、森林に火をつけて燃やしてから開墾する方法が取られました。

しかし、入植者の増加により住宅建材や鉄道の枕木、炭坑の坑木、紙用パルプ材の需要が増加すると、木を伐採して売り払い、副収入を得る人たちが現れるようになりました。

明治40（1907）年の釧路線（現根室本線）の開通によって新得駅が設置されると、駅から鉄道輸送が可能となり、木材の伐採がさらに進むようになりました。

佐幌川上流の新内の奥地は木材の宝庫で、冬山造材により原木が伐採され、馬などによって川のそばに集積されました。集められた原木は春の雪解け水で増水した佐幌川の水の力を利

郷土の歴史を新得町郷土研究会がご紹介いたします

しんとく歴史歩

No.21

佐幌川流送跡地

用して流送し、下流で新得市街側に陸揚げされました。この陸揚げをした場所が、2条橋のすぐ北の新得町1条北2丁目付近です。陸揚げした原木はバチバチ（馬そり）などで新得駅の土場まで運ばれ、ここから貨車で輸送されました。また、新得には明治末期に平塚木工場が、大正初期には太田、増田、黒田の3木工場が操業しており、原木はこうした木工場に運ばれ住宅材や枕木などに加工されていました。

佐幌川の流送は明治末期から始まり、大正13（1924）年ごろまで行われましたが、佐幌川上流部の原木の減少により終わりを告げるようになりました。流送跡地には、平成6（1994）年12月、新得町郷土研究会により史跡標柱が立てられています。

7月のカレンダー

7月の納期限は
25日まで固定資産税第2期、国民健康保険税第1期、後期高齢者医療保険料
普通徴収第1期、介護保険料普通徴収第1期、
上下水道使用料 (6月～7月分)

昨年の新得幼稚園七夕祭りの様子



1 土	サホロ湖遊漁解禁～9/30 わくわく体験教室(町民体育館) 9:00 絵本作家 内田麟太郎講演会(なごみ) 10:30	11 火	夏の交通安全運動～20日 屈足地区巡回診療(らら) 9:30	21 金	健診結果説明会(屈足) 10:00 屈足保育園夏のタペ 18:30 大平まゆみヴァイオリンコンサート (屈足) 18:30
2 日		12 水	新得・屈足合同わすれん塾 (焼肉ハウス) 9:00 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00	22 土	くったり軽トラ市(総合会館駐車場) 9:00
3 月	子育て相談(なかよし) 10:00	13 木	健康相談(屈足) 10:00 新内ホールコンサート 19:00 移動図書館車かりかち号運行	23 日	新得町長選挙投票日
4 火	介護・ものわすれ相談(なごみ) 9:00 屈足わすれん塾(総合会館) 9:00 屈足地区巡回診療(らら) 9:30	14 金	おはなし会(なかよし) 15:15 新得幼稚園七夕まつり 18:00 移動図書館車かりかち号運行	24 月	
5 水	新得わすれん塾(なごみ) 9:00 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00	15 土	土曜おはなし会(図書館) 11:00 第23回屈足さわやかビールパーティー (総合会館駐車場) 18:00 新得高校行灯パレード 18:00	25 火	屈足わすれん塾(総合会館) 9:00 屈足地区巡回診療(らら) 9:30 にこにこタッチ(なかよし) 10:00
6 木	健康相談(屈足) 10:00 寿教室バス遠足	16 日	第34回狩勝サマーロードレース大会 (サホロリバーサイド運動広場) 8:30 新得高校・新得高等支援学校学校祭 11:00	26 水	新得わすれん塾(なごみ) 9:00 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00
7 金	ワイワイ・ピアパーティー (なごみ前駐車場) 17:00	17 月	【海の日】 わくわく体験教室(公民館) 9:00	27 木	健康相談(屈足) 10:00 巡回児童相談(なごみ) 10:00 移動図書館車かりかち号運行
8 土	ガンケフェス2017(レイクイン) 11:00	18 火	新得町長選挙告示日 屈足わすれん塾(総合会館) 9:00 屈足地区巡回診療(らら) 9:30 乳幼児健診(なごみ) 診察あり12:15/診察なし13:10	28 金	夏休みなかよし学習塾(新得小) 8:30 おはなし会(なかよし) 15:15 新得保育所七夕交流会 18:30 移動図書館車かりかち号運行
9 日	タカトシ寄席in新得町(公民館) 13:00	19 水	育児の日 新得わすれん塾(なごみ) 9:00 健康相談・栄養相談(なごみ) 10:00 健診結果説明会(なごみ) 10:00	29 土	夏休みなかよし学習塾(新得小) 8:30
10 月	新得町戦没者追悼式(公民館) 10:00	20 木	健康相談(屈足) 10:00 寿教室(公民館) 10:00 健診結果説明会(なごみ) 10:00	30 日	夏休みなかよし学習塾(新得小) 8:30 第24回新得そばの里まつり (新得そばの里公園) 10:00
				31 月	

すくすく
赤ちゃんりん けいせい
林 景星くん

平成28年11月8日生まれ

パパ 銀 ママ 仁美
新生の2会なかむら あかり
中村 朱里ちゃん

平成28年11月21日生まれ

パパ 慎 ママ 静
つつじヶ丘会きくち かなた
菊池 叶楽くん

平成28年11月24日生まれ

パパ 章太 ママ 望美
新生の1会

◆平成29年5月末の人口()は前月比: 6,186人(±0) 男: 3,025人(+3) 女: 3,161人(-3) 世帯数: 3,325(+4) ◆

※外国人を含めた数で掲載